

平成 17 年(2005 年)3 月 20 日福岡県西方沖の地震(M7.0)に関連した近畿地域の地下水位等の変化

Changes of groundwater level and others in Kinki area associated with the West Off Fukuoka Prefecture Earthquake(M7.0)

高橋誠[1]; 板場智史[1]; 北川有一[1]; 松本則夫[1]; 佐藤努[1]; 大谷竜[1]; 小泉尚嗣[1]

Makoto Takahashi[1]; Satoshi Itaba[1]; Yuichi Kitagawa[1]; Norio Matsumoto[1]; Tsutomu Sato[1]; Ryu Ohtani[1]; Naoji Koizumi[1]

[1] 産総研

[1] AIST

産業技術総合研究所地質調査総合センターでは、東海、近畿地域を中心に 40 ヶ所、48 観測井で地下水位等の観測を行っている。2005 年福岡県西方沖の地震に際して 20 ヶ所において地震に伴う変動を観測したので、報告する。観測井は震央から 200~900km 程度の範囲に分布し、500km 以内の 23 井のうち 5 井で水位の上昇、2 井で低下が見られた。また、800km 以内の 46 井のうち、13 井で地震波による水面の振動とみられる水位の変動が観測された。ただし、測定間隔がほとんどの観測井において 2 分間隔であるため正確な波形は不明である。これらの観測井のうち 12 ヶ所で歪計が設置されており、11 ヶ所の歪に変動が観測された。